

IBC 岩手放送

活動名	IBC アナウンサー出前授業「ニュースの作り方」
実施期間	令和 7 年 12 月
実施回数	学校訪問 3 回

【実施学校】 葛巻町立江刈小学校、盛岡市立大慈寺小学校、盛岡市立城南小学校

【事業実施の成果・課題】

＜葛巻町立江刈小学校＞

江刈小学校（葛巻）全校児童 26 人の小学校。1 年生から 6 年生まで 1 つのフロアに集まっての授業だったため、低学年にもわかりやすい話になるように心掛けた。事前に大勢の前で話すことが全体的に苦手で話し方、聞き方について教えてほしいとのお願いがあった。相手にどのようにしたらわかりやすく伝わるか、そしてどのような聞き方をすれば相手が答えてくれるかを実戦形式で行った（インタビューを 2 人 1 組で行い、その内容を全体の前で発表）。自らの体験を通して、話す聞く楽しさや大切さを伝えた。

＜盛岡市立大慈寺小学校＞

事前にニュースやテレビの仕事についてたくさん質問を考えてくれていたので予定時間を超えて、可能な限り答えました。

DVD の内容理解も早く、速報性や公平性などニュース作りに何が大切か答えてくれてうれしかったです。テレビ離れが進んでいるともいわれていますが、好きな番組を聞くといろいろなジャンルの番組が出てきて、よく見ているなと感じました。

【事業担当者・講師の感想】

＜葛巻町立江刈小学校＞

インタビュー形式で話す聞くコツやポイントについて教えることで、児童の興味関心をひくことができ、楽しそうに取り組んでくれた。

相手に関心を持つことがコミュニケーションの第一歩であることを体感してくれ、こちらで教える中で初心に帰ることができた。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

＜葛巻町立江刈小学校＞

- ・聴く力・話す力には、相手の話に耳を傾け、相手に興味をもつことが大切であることも教えていただきました。
- ・相手を尊重しながら聴く姿勢は、コミュニケーションのすべてにつながる力だと改めて学ばせていただきました。
- ・人と話すことで、生き方が一人ひとりの方にあることが分かるというお言葉も感動しました。
- ・一人ひとりの生き方を大切に思う心を私自身も今後も大切にしていきたいと感じました。